

生命科学研究所 特別セミナー

環境刺激を感じながら しなやかに生きる植物のように

開催日時：平成31年2月20日（水）16:00～17:30

会場：医学・生命科学総合研究棟（G棟）2階 セミナー室A
http://www.lif.kyoto-u.ac.jp/j/?page_id=52

申込み：申込み不要・参加無料。どなたでも参加出来ます。

京都大学で研究に携わっている皆さんは、サイエンスに魅せられていますか？植物と細胞に惹かれてきた40年を紹介しつつ、皆さんと一緒に研究生活について考えてみたいと思います。

男女共同参画関連では、2006年に設置された京都大学女性研究者支援センターで相談室を開設し、女性研究者や学生さんの声を聞きました。2014年には男女共同参画学協会連絡会委員長として、アカデミアの多くの問題に直面しました。現在、日本学術振興会男女共同参画推進委員会で、女性研究者の活躍支援について模索しています。

<講師紹介> 西村いくこ 先生

京都生まれ、宝塚育ち

1979年 大阪大学大学院理学研究科博士課程修了、学位（理学博士）取得

1991年 基礎生物学研究所・助手

1997年 同研究所・助教授

1999年 京都大学大学院理学研究科・教授

2016年 甲南大学理工学部・教授（現職）

2017年 日本学術振興会学術システム研究センター・副所長（現職）

受賞歴 紫綬褒章、中日文化賞、文部科学大臣表彰、日本植物生理学会賞、アメリカ植物生理学会名誉会員賞、他

主催：生命科学研究所男女共同参画推進アクションプラン推進委員会
問合せ先：生命科学研究所総務掛
150soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

“Diversity for the Sake of Excellence”

統合生命科学専攻 細胞認識学分野

上 村 匡・服 部 佑佳子

ダイバーシティの推進は、世界トップレベルの研究開発を達成するために欠かせない戦略です。生命科学研究科では、性別あるいは職階を問わず、多くの皆様にご参加頂いてダイバーシティ推進を議論するセミナーを開催しています。昨年度と今年度は、細胞認識学分野がこのセミナーをお世話致しました。

平成31年2月20日に西村いく子先生(甲南大学・教授、日本学術振興会学術システム研究センター・副所長)を、そして、令和元年11月20日に鳥居啓子先生(テキサス大学・教授、名古屋大学WPI・客員教授)をお招きし、ダイバーシティ推進の一環として、いかに女性研究者の活躍を推進するかを議論しました。研究科や研究機関の枠を越え、昨年度は78名が、今年度は129名(いずれも男女比ほぼ同率)が参加して下さいました。西村先生も鳥居先生も植物科学の分野で活躍なさっていることもあり、セミナーの開催にあたっては、同じ生命科学研究科の河内孝之先生と荒木崇先生、そして両研究室の皆様のご尽力を賜りました。この場をかりて厚く御礼申し上げます。

このセミナーを通して、世話人である私たち自身も多くを学ばせて頂きました。まず、教授会などの意思決定機関に参加できる女性を3人以上にして複数の視点を採り入れることの重要性と、その目標を達成するための制度設計の具体例(研究機関へのインセンティブなど)を提示して頂きました。さらに、研究者を目指す個人々の生き方は様々であり、「全員がロールモデル」であるとのことご提言にも感銘を受けました。教員、特に教授の男女比が極端に偏っている京都大学の現状を見れば、優秀な女性を採用して多様かつ独創的な研究を推進し、京都大学ひいては日本のサイエンスの未来を拓かなければならない(diversity for the sake of excellence)との危機意識がヒシヒシと伝わってきました。

最後になりましたが、2回のセミナーのポスターは、いずれも総務掛長の神徳智恵様との合作です。ありがとうございました。



生命科学研究科
男女共同参画推進セミナー

日本人女性研究者、アメリカのアカデミアを生き抜く
研究室主宰・出産・育児・プロモーションへの調和的戦略のその後

開催日時：令和元年11月20日(水)
15:00～16:30

会 場：京都大学医学部創立百周年記念施設
芝蘭会館 稲盛ホール
<http://www.med.kyoto-u.ac.jp/shiran/>

申 込 み：申込み不要・参加無料。どなたでも参加出来ます。



生命科学研究科
特別セミナー

環境刺激を感じながら
しなやかに生きる植物のように

開催日時：平成31年2月20日(水) 16:00～17:30

会 場：医学・生命科学総合研究棟(G棟)2階 セミナー室A
http://www.lif.kyoto-u.ac.jp/j/?page_id=52

申 込 み：申込み不要・参加無料。どなたでも参加出来ます。

京都大学で研究に携わっている皆さんは、サイエンスに魅せられていますか？
植物と細胞に惹かれてきた40年を紹介しつつ、皆さんと一緒に研究生活について考えてみたいと思います。